

牛群検定ビッグデータ（その41） ～繁殖成績の推移～

牛群検定のビッグデータからわかるいろいろなことを本コーナーで紹介していきます。

図1に北海道、都府県について分娩間隔の推移を表示しました。改善傾向にありましたが、近年では悪化傾向となっています。

分娩間隔は ①分娩間隔 = 妊娠期間280日 + 空胎日数 とあらわすことができ、空胎日数の推移を図2に示しました。

さらに、

②分娩間隔 = 妊娠期間280日 + 分娩後初回授精日数 + 性周期21日 × 受胎までに要した授精回数／発情発見率としてあらわすこともできます。

②の式にある分娩後初回授精日数（図3）や受胎までに要した授精回数の推移（図4）をみてみると、ここ数年において受胎までに要した授精回数はやや改善傾向にあり、分娩後初回授精日数は悪化する傾向となっています。

都府県、北海道の平均値をみても、それぞれの傾向は異なります。繁殖成績の改善には、問題点を発見し、その問題点を解決することが重要です。

牛群検定では、各牧場の繁殖成績が確認できますので、牛群検定を活用して、問題点を確認しましょう。



図1 分娩間隔



図2 空胎日数



図3 分娩後初回授精日数



図4 受胎までに要した授精回数